

# 『多変量解析入門』 演習問題 解答

Taro Masuda @ml.taro

2022 年 2 月 6 日

## 1 はじめに

このPDFでは、小西貞則著『多変量解析入門 線形から非線形へ』(岩波書店, 2010)の解答を記していきます。公式なものではなくあくまで個人として公開しているため、誤りがある可能性があります。正確性についての保証はできない旨、予めご了承ください。

なお、著作権へ配慮し、問題文については割愛させていただきます。

## 2 第2章

### 2.1 問2.1

証明.

$$\frac{\partial S(\beta_0, \beta_1)}{\partial \beta_0} = \sum_{i=1}^n 2\{y_i - (\beta_0 + \beta_1 x_i)\}(-1). \quad (1)$$

これを0とおくと

$$\sum_{i=1}^n y_i = n\beta_0 + \beta_1 \sum_{i=1}^n x_i. \quad (2)$$

同様に $\beta_1$ でも微分して0とおくと

$$\frac{\partial S(\beta_0, \beta_1)}{\partial \beta_1} = \sum_{i=1}^n 2\{y_i - (\beta_0 + \beta_1 x_i)\}(-x_i) = 0 \iff \sum_{i=1}^n x_i y_i = \beta_0 \sum_{i=1}^n x_i + \beta_1 \sum_{i=1}^n x_i^2. \quad (3)$$

□

### 2.2 問2.2

誤差の2乗和を最小化したいので,

$$S(\boldsymbol{\beta}) = \boldsymbol{\epsilon}^\top \boldsymbol{\epsilon} = (\mathbf{y} - X\boldsymbol{\beta})^\top (\mathbf{y} - X\boldsymbol{\beta}) \quad (4)$$

を $\boldsymbol{\beta}$ について微分して

$$-2X^\top \mathbf{y} + 2X^\top X\boldsymbol{\beta} = \mathbf{0}. \quad (5)$$